

和名	分類	特徴ほか	会える場所											
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
アカタテハ	タテハチョウ科	代表的なタテハでヒメアカ タテハに似ている	○	○	○	全国								
			成虫発生時期（月）											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹	発生回数/年		越冬形態									
カラムシ、イラクサほか			3~4		成虫									

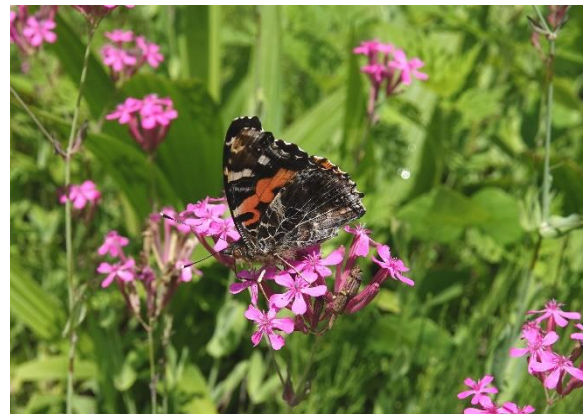


中野島 ハイム内 9月6日 (2009年)

「よく見るタテハチョウ」としてキタテハと並んで代表的なタテハで、活発に飛翔しては花を訪れ、樹液にも来ます。秋には個体数が増えますが、秋の多摩川土手ではヒメアカタテハに圧倒されています。ヒメアカタテハとの違いは微妙ですが、並べてみると模様も色調もわずかに違うのがわかります。



長野県南佐久郡 7月24日 (2022年) ムシトリナデシコで吸蜜



同 裏側も濃い色調



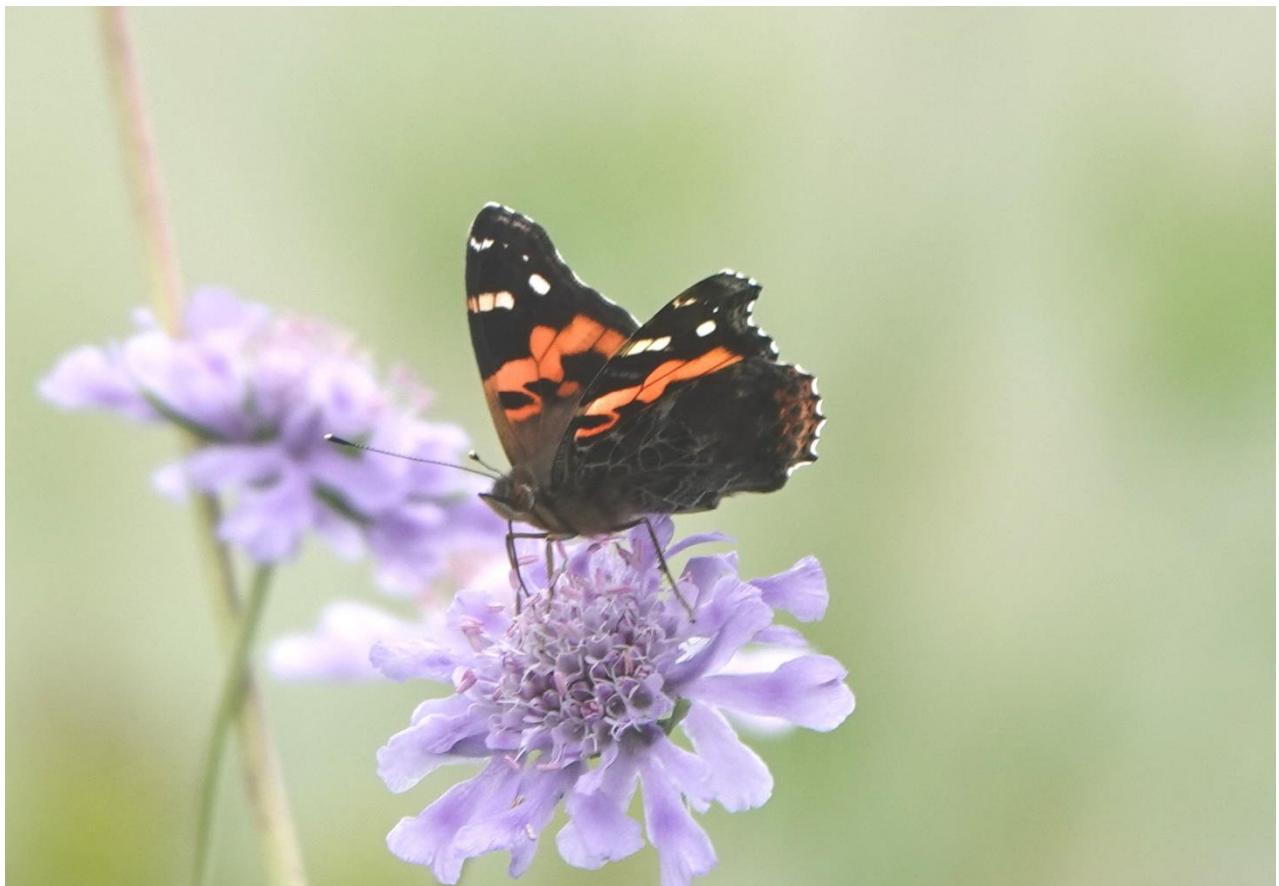
アカタテハ 長野県諏訪郡 8月27日 (2019年)  
マツムシソウで吸蜜



ヒメアカタテハ 多摩川土手 9月25日 (2017年)  
キバナコスモスで吸蜜  
わずかながら羽模様はちがう



長野県諏訪郡 8月27日（2019年） マツムシソウで吸蜜



長野県諏訪郡 8月25日（2023年） マツムシソウで吸蜜